

学会だより

◇ 会員の荣誉

矢野昌裕会員が「みどりの学術賞」受賞

本会会員矢野昌裕氏（農研機構次世代作物開発研究センター）は、「イネゲノム情報の解析と品種改良への応用」に関する功績により、内閣総理大臣から第13回「みどりの学術賞」を授与されました。

「みどりの学術賞」は、「みどり」についての国民の造詣を深めることを目的に内閣府が創設した賞で、「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に授与されます。授賞式は、4月26日に憲政記念館で行われました。

芦荻基行会員が「文部科学大臣表彰・科学技術賞」受賞

本会会員芦荻基行氏（名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授）は、「イネ重要農業形質遺伝子の同定と機能解析および育種学的研究」の功績により、平成31年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞」を授与されました。

文部科学大臣表彰は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術の水準の向上に寄与することを目的として、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を表彰するものです。

◇ 平成31年度 第1回運営委員会議事録

日時：2019年2月23日（土）14:00～17:30

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟

出席：奥本裕，大澤良，村井耕二，寺石政義，佐々英徳，井澤毅，有村慎一，石川隆二，山田哲也（北大），畠山勝徳，吉岡洋輔，中園幹生，加藤鎌司，久保貴彦，山本敏央，久保山勉，吉田均，加賀秋人，佐藤和弘，風間智彦【出席：20名】

欠席：築山拓司，横井修司【欠席：2名】

各運営委員からの活動経過報告の後，以下の事項について審議された。

- ①次年度予算案について
- ②編集委員の新任について
- ③石原（志方）守一奨学金の承認手続きと授与式について
- ④プライバシーポリシーおよびサイトポリシーについて
- ⑤男女共同参画推進委員会の委員長について
- ⑥会員数の漸減について
- ⑦シンポジウム情報のWEBサイト掲載について
- ⑧論文賞の審査時期変更について
- ⑨代議員会の議題について

◇ 第7回代議員会議事録

日時：2019年3月15日（土）15:00～19:00

場所：千葉大学国際教養学部総合校舎4号館（千葉大学西千葉キャンパス）

（理事・監事・運営委員）

出席者：奥本裕，大澤良，村井耕二，佐々英徳，石川隆二，山田哲也（北大），吉岡洋輔，山本敏央，吉田均，加賀秋人，風間智彦，富田因則【12名】

欠席者：吉村淳，宍戸恵理子，経塚淳子，有村慎一，加賀秋人，築山拓司【6名】

（代議員）

出席：阿部純，加藤清明，久保友彦，高牟禮逸朗，赤田辰治，岡崎桂一，高橋秀和，笹沼恒男，畠山勝徳，久保山勉，田中淳一，田中剛，中村郁郎，新倉聡，房相佑，井澤毅，伊藤純一，岩田洋佳，平野博之，岩崎行玄，土井一行，三浦孝太郎，山根京子，石井尊生，宅見薫雄，寺石政義，横井修司，加藤鎌司，佐藤和広，久保貴彦，田浦悟，宮原克典【32名】

欠席（議決権行使）：石本政男，江面浩，矢野昌裕，米丸淳一，矢野健太郎【5名】

欠席：辻本壽，中園幹生，佐藤豊（遺伝研）【3名】

議長：代表理事（奥本会長）

議事録：運営委員（庶務担当 総務第二）

出席者数は代議員会の定足数（20）を満たしていた。

1. 報告事項

（ア）運営委員会報告（各運営委員）

総務：会員数の推移・学会誌発行部数・HP更新・メール配信数・契約・石原（志方）守一奨学金授与者，

科研費：BS・シンポ科研費，

農学会：農学会シンポジウム等，

地域：各地域の活動報告，

会計：会計報告，

編集（英文誌：編集状況，和文誌：編集状況）

集会：今大会開催予定・次大会開催予定

（イ）平成30年度事業報告について（代表理事）

（ウ）平成30年度事業・会計監査結果の報告（監事）

2. 審議事項

（ア）第16回（平成30年度）論文賞の選考

学会賞等選考委員長より推薦論文3報が紹介された。

論文1：Thermo-responsive allele of *sucrose synthase3* (*Sus3*) provides high-temperature tolerance during the ripening stage in rice (*Oryza sativa* L.)

掲載号・頁：Breeding Science 68(3): 336–342

著者名：Kana Takehara, Kazumasa Murata, Takuya Yamaguchi,

Kohei Yamaguchi, Genki Chaya, Shintaro Kido, Yukimoto Iwasaki, Hitoshi Ogiwara, Takeshi Ebitani, Kotaro Miura
論文 2 : The cleistogamy of the *superwoman1-cleistogamy1* mutation is sensitive to low temperatures during the lodicule-forming stage

掲載号・頁 : Breeding Science 68(4): 432-441

著者名 : Shinnosuke Ohmori, Setsuo Koike, Takami Hayashi, Tomoya Yamaguchi, Makoto Kuroki, Hitoshi Yoshida

論文 3 : QTLs maintaining grain fertility under salt stress detected by exome QTL-seq and interval mapping in barley

掲載号・頁 : Breeding Science 68(5): 561-570

著者名 : Asuka Kodama, Ryouhei Narita, Makoto Yamaguchi, Hiroshi Hisano, Shunsuke Adachi, Hiroki Takagi, Taiichiro Ookawa, Kazuhiro Sato, Tadashi Hirasawa

投票の結果、出席者の3分の2以上の可票を得、全てが論文賞として承認された。

(イ) 平成 31 年度学会賞等選考委員の選出(総務)

代議員による投票の結果、以下の6名、次点2名が選出された。

加藤鎌司, 佐藤和広, 石本政男, 辻本壽, 阿部純, 矢野昌裕

【次点】井澤毅, 中園幹生

(ウ) 平成 31 年度予算案について

審議の結果、原案通り承認された。

(エ) 編集委員について

審議の結果、村井耕二氏(福井県大)、草場信氏(広島大)、Mallikarjuna Swamy 氏(IRRI)、山崎将紀氏(神戸大)、八木雅史氏(農研機構・野菜花き研)、片山寛則氏(神戸大)の6名の編集委員の新任が承認された。

(オ) 運営内規の変更(論文賞の選考)について

審議の結果、原案通り承認された。

3. その他

(ア) 関連報告

シンポジウム委員会, 男女共同参画推進委員会, 記者発表, JABEE 公益財団法人農学会技術者教育推進委員会, LMO_ABS 担当より報告があった。記者発表に関して、一課題について大会前に通信社のウェブサイトに掲載されたものがある点について、代議員より要旨集発行日以前の情報発信・開示について再検討の必要性が指摘された。

(イ) その他

運営委員(総務)より、講演会の優秀発表賞の投票について説明があった。

◇ 第 135 回講演会選定課題記者発表報告

発表日時 : 平成 31 年 3 月 11 日(月曜) 11:00 ~ 12:30

発表場所 : 東京大学弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟講義室

出席者 : 村井耕二, 有村慎一

参加機関 : 科学新聞社, 日本農業新聞, 化学工業日報

詳細資料希望 : 日経 BP 社

発表タイトル :

(1) 「山田錦」と双璧をなす酒米品種の育成

(2) 「ふくいオリジナル酒米品種の開発」

(3) 「コムギを対象とした効率的な全ゲノム配列解析技術の開発」

(4) 「花粉も卵も作らないキクを開発」

講演タイトル :

(1) 403 「酒造好適米「百田」の育成と主要特性」

高橋竜一¹, 柴田智¹, 大野剛², 児玉雅², 加藤和直¹, 川本朋彦¹ (1. 秋田県農試・作物, 2. 秋田県総食研・醸試)

(2) 405 「酒造好適米新品種「さかほまれ」の育成」

中岡史裕¹, 小林麻子¹, 林猛¹, 吉永朱里², 奥田将生³, 町田芳恵¹, 両角悠作¹, 田野井真¹, 酒井究¹, 渡辺和夫¹, 富田桂¹ (1. 福井農試, 2. 福井食研, 3. 酒類総研)

(3) 113 「効率的な反復配列除去技術の開発とコムギ全ゲノム解析への応用」

市田裕之, 阿部知子(理研・仁科センター)

(4) 222 「TALENs を用いた CmDMC1 遺伝子(群)の同時ノックアウトによる雄性・雌性不稔ギクの創出」

篠山治恵¹, 市川裕章², 横井(西澤)彩子^{2,3}, スカプトソフ ミハイル⁴, 土岐精一^{2,5,6} (1. 福井農試, 2. 農研機構・生物機能部門, 3. JST・さきがけ, 4. アルタイ国大, 5. 横浜市大・ナノシステム研, 6. 横浜市大・木原生研)

◇ 石原(志方)守一奨学金受賞報告

運営委員会で審議の結果、以下の4名の優秀発表賞受賞者を平成30年度の石原(志方)守一奨学金受賞者と決定した。

【第133回大会】

講演番号 513 : 戸田絵梨香(首都大院・理工・生命科学)

講演番号 517 : 縣歩美(名大院生命農学)

【第134回大会】

講演番号 203 : 杉山昇平(神戸大・院・農学)

講演番号 P040 : 濱崎甲資(東京大・院農学生命科学)

◇ 第135回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2019年日本育種学会春季大会(第135回講演会)における日本育種学会優秀発表賞が下記の11課題に決定された。

講演番号 202 : ダイズ種皮緑色を決定する *Gsc1* のオロソログの機能解析

☆山谷浩史¹, 山田哲也², 草場信¹ (1. 広島大学・院理, 2. 北海道大学・院農)

講演番号 521：第何葉のフロリゲンが花成を起こすのか？

☆吉田綾，吉田明希子，辻寛之（横浜市立大学木原生物学研究所）

講演番号 P003：X線CTによるイネ根系のハイスループット3次元可視化

☆寺本翔太，高安聡子，宇賀優作（農研機構・次世代作物開発研究センター）

講演番号 P057：ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子 *Crr1a* の機能解析

☆湯澤彰太¹，安部洋²，高畑義人¹，畠山勝徳¹（1. 岩手大・農，2. 理研バイオリソースセンター）

講演番号 505：コムギ近縁種 *Aegilops umbellulata* がもつ二粒系コムギとの間の雑種矮性原因遺伝子の遺伝解析

☆岡田萌子¹，吉田健太郎¹，佐藤和広²，宅見薫雄¹（1. 神戸大院農，2. 岡山大植物研）

講演番号 507：コムギの稔実小花数増加による多収化

☆佐久間俊^{1,2}，Guy Golan³，Zifeng Guo²，小川泰一⁴，田切明美⁴，杉本和彦⁴，大西志全⁵，神野裕信⁵，山下陽子⁶，Zvi Peleg³，Thorsten Schnurbusch²，小松田隆夫⁴（1. 鳥取大学農学部，2. IPK，3. Hebrew University of Jerusalem，4. 農研機構，5. 北見農業試験場，6. 中央農業試験場）

講演番号 105：QTL-seq解析によるアワ (*Setaria italica*) の草丈に関与する遺伝子領域の同定

☆吉津祐貴¹，高草木雅人¹，阿部陽²，高木宏樹^{2,3}，小林光智衣²，長谷川聡¹，寺内良平^{2,4}（1. 岩手県農業研究センター・北農業研究所，2. 岩手生物工学研究センター，3. 石川県立大学，4. 京都大学農学部）

講演番号 108：塩ストレス下でのオオムギの花粉稔性低下に関わる遺伝子の探索

☆児玉明日香¹，成田亮平¹，山口真功¹，久野裕²，安達俊輔¹，高木宏樹³，平沢正¹，佐藤和広²，大川泰一郎¹（1. 農工大・院農，2. 岡山大・植物研，3. 石川県大・生物資源）

講演番号 114：主成分分析を用いたイネ草型に関するGWA解析

☆矢野憲司¹，平野恒²，吉田晋弥³，北野英己²，田宮元¹，松岡信²（1. 理化学研究所革新知能統合研究センター，2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター，3. 龍谷大学食農研）

講演番号 512：イネの腋芽形成過程における幹細胞維持の制御メカニズム

☆田中若奈，平野博之（東大・院理）

講演番号 P051：新育種技術（接ぎ木によるRdDM）によるリンゴ品種改良に向けた研究

☆菅野あゆみ¹，葛西厚史¹，原田寿晴²，原田朋子²，羽場佳菜湖²，原田竹雄¹，野呂治³，赤田辰治¹（1. 弘前大学農学生命科学部，2. 株式会社原田種苗，3. 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会）

◇ 地域談話会だより

〈北海道地区〉

2018年12月8日（土）に酪農学園大学（江別市）において、日本育種学会・日本作物学会北海道談話会年次講演会並びに総会が開催された。なお、講演では42題の発表があった。講演を行った若手（35歳未満）の講演者の中で、特に優れた講演発表を行った者を審査員の投票により選定、表彰した。本年度の優秀賞には講演番号108の道満剛平（道総研上川農試）、講演番号205の貝沼宏太郎（帯畜大）および講演番号302の楠本祥平（北大農）の3名、奨励賞には講演番号101の大東拓朗（北大農院）、講演番号107の池田慧（北大農院）、講演番号204の秋江大雅（帯畜大）、講演番号206の丸田泰史（道総研中央農試）、講演番号307の川合のどか（帯畜大）および講演番号310の小西湧希（帯畜大）の6名が選ばれた。

◎平成30年度一般公演（○は講演者）

101 キンギョソウトランスポゾン転移酵素タンパク質の細胞内局在制御機構の種分化。○大東拓朗¹・周華¹・湯浅育幹¹・三井茂友²・小出陽平¹・津釜大侑¹・藤野介延¹・貴島祐治¹（1. 北大農，2. 北大院農）

102 多数のキンギョソウ交雑後代から見た2つのTam3転移抑制遺伝子の機能と構造の比較解析。○湯浅育幹・平田愛・周華・牧谷佳世・大東拓朗・三井茂友・小出陽平・貴島祐治（北大院農）

103 テンサイ初期生育において発現するヘテロシス（雑種強勢）の形態的特徴。○大久保めぐみ・久保友彦・北崎一義（北大院農）

104 イネ種間雑種不稔遺伝子 *S2* は第4染色体に座乗する。○緒方萌衣¹・小出陽平²（1. 北大農，2. 北大院農）

105 イネの種間雑種不稔に関わる遺伝子座の分子進化解析。○北嶋ゆき・齋藤希・小出陽平（北大農院）

106 イネゲノムに内在する化石ウイルスのコピー数とRTBV感染個体に表れた病徴との関係。○北島克哉¹・宇津康太郎²・斉藤希²・小出陽平²・貴島祐治²（1. 北大農，2. 北大院農）

107 イネ品種レイメイ由来の早生遺伝子の遺伝解析。○池田慧¹・川原千佳¹・Joseph Enoch Garcon²・長野宏則³・小出陽平²・Rana Birendra Bahadur⁴・村井正之⁴・高牟禮逸朗^{2,5}（1. 北大農，2. 北大院農，3. 北大FSC，4. 高知大農林海洋科学部，5. 北大院食資源）

108 本州飼料イネ「たちすがた」に由来する深根性の北海道品種への導入とQTL解析。○道満剛平¹・林和希^{2,3}・小倉玲奈^{2,3}・平山裕治¹（1. 道総研上川農試，2. 道総研中央農試，3. 道総研北見農試）

109 北海道と府県の酒造好適米品種における出穂後1ヶ月間の最高気温と酒造適性の関連指標との関係。○

田中一生¹・尾崎洋人²・平山裕治¹・菅原彰³ (1. 上川農試, 2. 道南農試, 3. 十勝農試)

110 極良食味系統「上育462号」を遺伝的背景とする「ゆきひかり」の染色体部分置換系統の作出と農業特性. 島貫渉¹・高橋奈那²・川原千佳²・高牟禮逸朗²・西村努³・佐藤毅⁴・平山裕治⁵・○加藤清明¹ (1. 帯広畜大, 2. 北大農, 3. 道総研中央農試, 4. 道総研道南農試, 5. 道総研上川農試)

201 パン用春播き小麦品種「春よ恋」における多収・高品質栽培技術の開発. ○竹之内悠¹・田中由紀¹・梶田淳史¹・山本俊治²・坂本竣哉²・塩谷仁³ (1. ホクレン農総研, 2. JAきたみらい, 3. JA斜里町)

202 長稈性秋播性ライムギにおける基肥窒素施用量および播種密度が生育, 収量に及ぼす影響. ○小池悠太¹・義平大樹¹・秋本正博² (1. 酪農大, 2. 帯畜大)

203 北海道で育成された秋播性コムギ新旧品種の比較—窒素施肥効率—. ○熊柘太・古橋拓弥・義平大樹 (酪農大)

204 コムギ4B染色体上の種子長に関与するQTLのマッピング. ○秋江大雅・隠岐稚菜・大西一光・三浦秀穂 (酪農大)

205 スペルトコムギが持つ*Rht8*座領域の短程と大程を付与する遺伝子. ○貝沼宏太郎・中島実桜・板倉和貴・三浦秀穂・大西一光 (酪農大)

206 北海道の秋まき小麦におけるイギリス品種由来の多収・大粒QTLの効果. ○丸田泰史¹・林和希²・山下陽子¹・大西志全² (1. 道総研中央農試, 2. 道総研北見農試)

207 マルチプレックスPCRによる小麦種皮色遺伝子型判定のための新規簡便法. ○栗原志保¹・松中仁² (1. 北農研, 2. 九沖農研)

208 子実用トウモロコシの栽植密度反応—草型の異なるトウモロコシ品種における比較—. ○宋糧・上田空知・渡邊和唯・増地敬・義平大樹 (酪農大)

209 子実用トウモロコシの栽植密度反応—受光態勢からみた草型が異なる品種間で差異が生じる要因の検討—. ○義平大樹・上田空知・渡邊和唯・増地敬・宋糧 (酪農大)

210 子実用トウモロコシに対する千鳥播栽培における振幅距離が生育・収量に及ぼす影響. ○渡邊和唯・宋糧・上田空知・増地敬・義平大樹 (酪農大)

301 北海道中央部で多収を示すカナダダイズ品種と, その多収要因に関する研究—収量構成要素と成長解析における北海道品種との比較—. ○井原巧太・義平大樹 (酪農大)

302 ダイズの低温による開花遅延の分子遺伝学的解析. ○楠本祥平・張静語・針谷康平・朱江慧・徐美蘭・山田哲也・阿部純 (北大院農)

303 摘芯処理が無限伸育型小粒黒ダイズ「黒千石」の生育や収量におよぼす影響. ○中出ゆき乃・岩本美樹・

秋本正博 (帯畜大)

304 収穫遅れによる大納言小豆外観品質への影響. ○田澤暁子 (道南農試)

305 落葉病抵抗性で機械化収穫適性が高く, 餡色が紫色のアズキ新品種「紫さやか」の育成. ○長岡寛知^{1,3}・長岡泰良¹・山田宗平²・小河俊郁² (1. (株)バイオテック, 2. (株)御座候, 3. 帯畜大)

306 アズキの百粒重と節間長に関わるQTLsの特定. ○森正彦¹・川合のどか¹・長澤秀高²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

307 長胚軸性アズキの選抜マーカーの開発. ○川合のどか¹・森正彦¹・長澤秀高²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

308 アズキの国内外の遺伝資源の開花始まりの日長反応性と*FDI*近傍のDNA多型との関連性の検討. ○伊井田拓実¹・井元佑亮¹・森正彦¹・堀内優貴²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

309 十勝地方におけるラッカセイの適正栽培法の検討. ○高木大成¹・熊田総佳²・平井康雅³・河村雅人³・市原大輝³・秋本正博¹ (1. 帯畜大, 2. NTTデータ経営研, 3. NTTデータ)

310 北日本に由来するエゴマ在来品種の十勝地方における栽培適性. ○小西湧希・秋本正博 (帯畜大)

311 ヒマワリ種子から抽出したプロテアーゼの凝乳活性. ○奈良優里佳・秋本正博 (帯畜大)

401 2018年の北海道における水稻低収要因の農業試験場データによる解析. ○木下雅文 (中央農試)

402 イネの低温苗立ち性の改良を目指して. ○保田浩・林高見 (北農研)

403 阿波赤米由来の低温出芽性QTL, *qESSII*をもつコシヒカリ準同質遺伝子系統の北海道における直播適性. ○林高見¹・山口琢也²・杉本和彦³・佐藤裕¹ (1. 北農研, 2. 富山農総技セ, 3. 次世代セ)

404 海外遺伝資源の利用により開発したダイズ多収系統の特性. ○小林聡¹・黒崎英樹²・鈴木千賀¹・山口直矢¹ (1. 道総研十勝農試, 2. 道総研中央農試)

405 耐倒伏性の改良に向けた短節間無限伸育型ダイズの選抜. ○山口直矢¹・Elroy Cober² (1. 道総研十勝農試, 2. オタワR&D)

406 テンサイ直播栽培において狭畦密植が収量に与える影響. ○松平洋明・岡崎和之・黒田洋輔・上田重文・田口和憲 (農研機構北農研)

407 ビート黄葉ウイルスの感染がテンサイの収量に及ぼす影響. ○黒田洋輔・岡崎和之・高篠賢二・上田重文・松平洋明・田口和憲 (農研機構北農研)

408 ビート黄葉ウイルス(BLYV)抵抗性の選抜効果. ○岡崎和之・黒田洋輔・高篠賢二・上田重文・松平洋明・田口和憲 (農研機構北農研)

409 道総研作況調査からみた2018年産小麦の低収要因と地域間差. ○西志全¹・前野眞司²・佐藤三佳子²・来

嶋正朋³・足利奈奈¹・其田達也¹・菅原彰⁴・藤田涼平³・神野裕信¹ (1. 北見農試, 2. 中央農試, 3. 上川農試, 4. 十勝農試)

410 コムギ眼紋病抵抗性検定と抵抗性遺伝資源の探索.
○竹内徹・鈴木孝子 (道総研農業研究本部)

411 ダイズ「音更大袖」の種子生産で見出された全面着色種子について. ○千田峰生¹・葦名照公¹・田中義則² (1. 弘前大, 2. 中央農試)

〈東北地区〉

11月23日(金曜日)に第13回東北育種研究集会在弘前大学農学生命科学部(世話任代表:石川隆二)開催校にて開催されました.

日程は以下の通り

1. 日時:平成30年11月23日(金曜日)午後
2. 会場:弘前大学八甲田ホールでのポスター発表, 同農学生命科学部203号室での研究交流会
3. 情報交換会:「台湾におけるイネ育種に影響を与えた日本人育種研究者」話題提供:石川隆二(弘前大学農学生命科学部), 優秀ポスター賞表彰式

13時から弘前大学の育種会員と共同研究を行っている三浦浩造の見学では, 品質を劣化させない精米技術と共に温暖化におけるコメの品質がその後の発酵にどのような悪影響を及ぼすかなどの現場での意見と共に, 良質の日本酒醸造の技術について解説を受けた.

16時から弘前大学コラボレーションセンターにてポスター計31課題(うち優秀発表賞エントリーは22題)による発表が行われた.

17:30からの情報交換会では, 「台湾におけるイネ育種に影響を与えた日本人育種研究者」話題提供:石川隆二(弘前大学農学生命科学部)が講演された. 元日本育種学会員である岡彦一(元国立遺伝学研究所教授, 元中興大学教授)を始め, その先輩にあたる磯栄吉(台北帝国大学), 先輩技術者である末永仁技師(元台中農業試験場主任)が台湾で行った在来稲の現地適応性試験とともに交雑育種で生み出した台中65号(T65)育成背景について紹介された. T65は亀治×神力で育成された系統であり, 台湾での胴割れなどの品質劣化を克服し栽培面積で最も広域で栽培された品種であったとされている. 同品種は現在の形質転換や変異体作出時など育種学研究において広く利用されていることも紹介された.

参加者内訳として, 見学会は31名, ポスター発表31名(うち優秀発表賞エントリーは22題), および情報交換会出席46名, のべ53名の参加を得た. 優秀発表賞は以下の2件となった.

P13 「ダイコン抽苔性とFLC遺伝子多型およびゲノムワイドなSNPとのアソシエーション解析」発表の小林寛人(東北大院農)

P14 伝統的繊維作物「青苧」のDNAマーカーを用い

た多様性解析発表の西田悠希(山形大・院農)

全ポスターは以下の通り,

ポスター発表(☆:優秀ポスター賞エントリー発表者, ○:発表者)

☆P01 *Brassica oleracea*における異なる菌株に対する根こぶ病QTL解析

○齋藤浩之¹, 小玉太郎¹, Mozammel Hoque¹, Daniel John Shea¹, 清水元樹², 藤本龍³, 深井英吾¹, 岡崎桂一¹ (1. 新潟大大学院自然科学研究科, 2. 岩手生工研, 3. 神戸大大学院農学研究科)

P02 細胞質雄性不稔性イネへの重イオンビームとEMS処理による稔性回復変異体の解析

○風間智彦¹, 市田裕之², 阿部知子², 佐藤雅志¹, 鳥山欽哉¹ (1. 東北大・院・農, 2. 理研仁科セ)

☆P03 稔性回復遺伝子 *Rf1* は W1112 型細胞質雄性不稔性イネの稔性を回復させるか?

○佐々木実穂, 小松千春, 志田怜那, 長恵理子, 鳥山欽哉, 風間智彦(東北大・院・農)

☆P04 ミトコンドリア移行TALENを用いたCW型細胞質雄性不稔性イネの雄性不稔性原因遺伝子の破壊

○木下諄美¹, 有村慎一², 鳥山欽哉¹, 風間智彦¹ (1. 東北大院・農, 2. 東大院・農生)

☆P05 突然変異体を利用した穂発芽耐性遺伝子座 *qSdr6a* の責任遺伝子の同定

○飯島信繁¹, 阿部光希², 四宮未貴², 石川広朗², 佐野舜一², 杉本和彦³, 星野友紀^{1,2} (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 山形大・農・食料生命環境, 3. 農研機構・次世代作開研セ)

☆P06 ミトコンドリア移行TALENを用いたCMS原因遺伝子候補 *orf352* のノックアウト

○大向詩穂¹, 有村慎一², 鳥山欽哉^{1,3}, 風間智彦^{1,3} (1. 東北大・院・農, 2. 東大院・農生, 3. 東北大院・農)

☆P07 ミトコンドリア移行TALENを用いた植物ミトコンドリアゲノム改変の試み

○池田健一郎¹, 有村慎一², 鳥山欽哉^{1,3}, 風間智彦^{1,3} (1. 東北大・農, 2. 東大院・農生, 3. 東北大院・農)

☆P08 双極葉は茎頂分裂組織周辺のサイトカイニンシグナル異常によって引き起こされる

○手塚拓海¹, 小林俊貴¹, 渡辺友和¹, 佐藤理絵², 我彦廣悦¹, 永澤信洋¹, 佐藤(永澤)奈美子¹ (1. 秋田県大・生物資源, 2. 秋田県大院・生物資源)

P09 セルラーゼ遺伝子を用いた稲わらの糖化性向上

○高畑開理¹, 市川晋¹, 古川佳世子¹, 濁川睦¹, 園木和典², ○伊藤幸博¹ (1. 東北大・農, 2. 弘前大・農学生命)

☆P10 秋田県在来ナス品種のSSRマーカーを用いた系統解析

○中川睦司, 上田健治, 櫻井健二, 渡辺明夫, 赤木宏守, 高橋秀和(秋田県立大学・生物資源)

☆P11 葉の分化パターンに異常があるイネ突然変異体

の解析

○佐藤理絵¹, 春原英彦², 我彦廣悦³, 永澤信洋³, 佐藤(永澤)奈美子³ (1. 秋田県大院・生物資源, 2. 熊本大・理, 3. 秋田県立大学・生物資源)

P12 青森県弘前市内におけるスギ花粉米の特定網室試験栽培

○工藤美由紀¹, 葛西豊誠¹, 猪股和広¹, 黒滝誠浩¹, 高野誠², 若佐雄也², 小沢憲二郎², 八木橋郁夫¹ (1. (株)町田アンド町田商会, 2. 農研機構生物機能利用研究部門)

☆P13 ダイコン抽苔性と *FLC* 遺伝子多型およびゲノムワイドな SNP とのアソシエーション解析

○小林寛人¹, 川端泉穂¹, 白澤健太², 吹野伸子³, 平川英樹², 北柴大泰¹ (1. 東北大学大学院農学研究科, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 農研機構野菜花き研究部門)

☆P14 伝統的繊維作物「青苧」の DNA マーカーを用いた多様性解析

○西田悠希¹, 村上弘子², 米澤里奈³, 松田淳一⁴, 笹沼恒男¹ (1. 山形大・院農, 2. 青苧復活夢見隊, 3. 大江町地域おこし協力隊, 4. 大江町教育委員会)

☆P15 QTL-seq で同定したイネの低温発芽性に関する QTL の効果の検証

○土田大介¹, 高橋秀和², 上田健治², 櫻井健二², 渡辺明夫², 川本朋彦³, 赤木宏守² (1. 秋田県大院・生物資源, 2. 秋田県大・生物資源, 3. 秋田県農試)

P16 接木を用いたアブラナ属における繁殖システム(一年生・多年生)の解析

○小川萌菜^{1,2}・畠山勝徳¹・○高畑義人¹ (1. 岩手大・農, 2. 現: 東北大・院・生命)

☆P17 根こぶ病抵抗性遺伝子 *Crr1b*, *Crr2* 候補 ORF 導入シロイヌナズナの解析

○秋田谷菜那¹, 高橋美紗子¹, 湯澤彰太¹, 松元哲², 高畑義人¹, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. 農研機構・野菜花き部門)

☆P18 リンドウ科植物の突然変異誘発に関する研究

○鈴木里奈¹, 高村祐太郎^{1,2}, 日影孝志², 松尾哲³, 畠山勝徳¹, 高畑義人¹ (1. 岩手大・農, 2. 八幡平市花き研究開発センター, 3. 農研機構・野菜花き部門)

☆P19 トウガラシ果実色 DNA マーカーの開発とその育種利用に向けた取り組み 2

○千葉翔子¹, 鶴巻啓一², 笹沼恒男^{1,2} (1. 山形大・農, 2. 岩手大・院連合農学)

P20 コーカサス地方及び中国青海省コムギ遺伝資源の主要形質に関する多様性評価

○笹沼恒男¹, 澤田小春¹, 平山可奈¹, 西田英隆², Zezua Asanidze³, Tamar Bragvadze³, Ivan Gabrielyan⁴, Gayane Melyan⁵, Alvina Avagyan⁵, Aghyan Sahakyan⁵, Tamara N. Smekalova⁶, Olga N. Kovaleva⁶, 田中裕之⁷, 佐藤和広⁸, 高田兼則⁹, 朱明婧¹⁰, 龍春林¹⁰ (1. 山形大・農, 2. 岡山大院・環境生命, 3. イリア州立大, 4.

アルメニア国立科学アカデミー・植物研, 5. アグラリアン大・農業バイオテック科学センター, 6. バビロフ研, 7. 鳥取大・農, 8. 岡山大・植物研, 9. 農研機構・西日本農研, 10. 中国民族大学)

P21 第1節間に節様構造を形成するイネ突然変異体の解析

○中田翔茉, 佐藤(永澤)奈美子, 永澤信洋(秋田県立大学生物資源科学部)

☆P22 鞍掛ダイズにおける種皮着色過程の調査について

○佐藤優美, 千田峰生(弘前大学農学生命科学部)

P23 接ぎ木を利用したエビゲノム編集ジャガイモ 野外栽培試験の開始へ

○葛西厚史¹, 原田竹雄¹, 山崎宗郎², 田部井豊², 赤田辰治¹ (1. 弘前大学農学生命科学部, 2. 農研機構・生物機能利用研究部門)

P24 葉緑体ゲノムからみたヒシの進化

○石川隆二¹, Dinh Thi Lam², 山岸洋貴¹, 片岡太郎³ (1. 弘前大学農学生命科学部, 2. 岩手連大, 3. 弘前大学人文社会科学部)

☆P25 Genetic diversity and variation for blast resistance in rice cultivars from Ethiopia

○Tadesse Lakew^{1,2}, Yoshimichi Fukuta³, Ryuji Ishikawa⁴ (1. 岩手連大, 2. EIAR, FNRRTC, Ethiopia, 3. JIRCAS)

☆P26 Phosphorus deficiency tolerance originated from wild species in rice

○Dinh Thi Lam^{1,2}, 石川隆二³ (1. 岩手連大, 2. IAS, Vietnam, 3. 弘前大学農学生命科学部)

☆P27 オーストラリア野生イネ集団における自然交雑の検証と種特異的形質である葯長の連関解析

○三島木隆広¹, 菅原魁人¹, 一谷勝之², 石川隆二¹ (1. 弘前大学農学生命科学部, 2. 鹿児島大学農学部)

☆P28 高温での胴割れ耐性のイネ品種育成と選抜マーカーに関する研究

○笹森峻雅, 石川隆二(弘前大学農学生命科学部)

☆P29 熊本県久木野村における在来イネより見出された半矮性の遺伝解析

○日景雄大, 石川隆二, 田中克典(弘前大農生命)

☆P30 葉緑体ゲノムの配列変異に基づいたメロンと *Cucumis* 属近縁種との類縁関係

○宇都宮亜季¹, 田中克典¹, 嶋田玄太郎², Mst. Naznin Pervin², Tran Phuong Dung², 西田英隆², 加藤鎌司² (1. 弘前大農生命, 2. 岡山大院環境生命)

P31 カザフスタンのメロンにおける果実特性や細胞質型の解析と伝播経路の検討

○村上遼馬¹, ○田中克典¹, 杉山充啓², Anna M. Artemyeva³, Zharas Mamypbelov⁴, Tian V. Sergevich⁵, Sergey M. Alexanian³, 加藤鎌司⁶ (1. 弘前大人文, 2. 農研機構野菜花き研, 3. バビロフ研究所, 4. カザフジャガイモ野菜研, 5. カザフイネ調査研, 6. 岡山大院自然)



三浦酒造見学



ポスター会場



三浦酒造精米施設見学



三浦酒造発酵タンク見学

〈九州・沖縄地区〉

第13回日本育種学会九州育種談話会が、2018年12月12日(水)に南九州大学都城キャンパス2号館で開催された。本談話会では、4題の依頼講演とポスター発表22題があり、事前参加登録者61名を含む多数の参加者により活発な意見交換が行われた。また一般参加によるポスター発表では、参加者による投票で以下の2題のポスター発表が表彰された。

〈最優秀発表賞〉

P13:「ウンカ類殺卵遺伝子 OVC 候補配列を導入した形質転換体の液浸化形成率」

☆松本和佳菜, 山形悦透, 安井秀 (九州大学農学部)

〈優秀発表賞〉

P12:「*Oryza sativa* L. と *O. glaberrima* Steud. 間の種間交雑に由来する雑種不稔系統における花粉発達過程の異常」

☆藤原渉, 安井秀, 山形悦透 (九州大学農学部)

発表演題は以下のとおり。

〈講演〉

O1:「水稻高温不稔耐性評価システムの構築と高温不稔に関与する遺伝要因の解明」羽方誠 (農研機構九州沖縄農業研究センター筑後研究拠点水田作研究領域イネ育種グループ)

O2:「サツマイモにおけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性遺伝子座判別用 DNA マーカーの開発」田淵宏朗 (九州沖縄農業研究センター都城研究拠点畑作研究領域畑作物生理・遺伝グループ)

O3:「トウガラシ類における病害虫抵抗性育種について」杉田亘 (南九州大学環境園芸学部園芸育種学研究室)

O4:「宮崎県におけるスイートピーの品種育成」中村薫 (宮崎県総合農業試験場花き部)

〈ポスター発表〉

- P1:「ヤーコンにおける優良系統作出の試み」○松田靖, 守山亮祐, 村田達郎 (東海大学農学部)
- P2:「イノベーション創出強化研究推進事業「安全安心な国産農産物安定供給のためのピーマン育種プロジェクト (26102C)」」○武田和宣 (ピーマン育種コンソーシアム) (宮崎県総合農業試験場 (ピーマン育種コンソーシアム))
- P3:「アジア栽培イネ *Oryza sativa* とオーストラリア野生イネ *O. meridionalis* の交雑後代に見られた半不稔現象の遺伝解析」市川真¹, 田浦悟², 石川隆二³, 一谷勝之¹ (1. 鹿児島大・農学, 2. 鹿児島大・遺伝子実験施設, 3. 弘前大・農学生命科学)
- P4:「HWA1 および HWA2 によるイネ雑種弱勢現象の緩和に関する遺伝解析」○豊元大希¹, 湯山祐樹², 田浦悟³, 一谷勝之² (1. 鹿児島大・院連合農学, 2. 鹿児島大・農学, 3. 鹿児島大・遺伝子実験施設)
- P5:「イネ品種トヨニシキのイネ白葉枯病に対する圃場抵抗性の qtl 解析」○江崎亮太¹, 中山雄貴¹, Jessey A. Msami¹, 一谷勝之¹, 田浦悟² (1. 鹿大, 2. 鹿大遺伝子)
- P6:「イネ品種コシヒカリのイネ白葉枯病に対する反応 V. インド型感受性品種 IR24 にコシヒカリを交配して作成した組換え型自殖系統の病斑伸長に関する QTL 解析 2」○中山雄貴¹, 江崎亮太¹, 畠中京介¹, Jessey A. Msami¹, 一谷勝之¹, 田浦悟² (1. 鹿大, 2. 鹿大遺伝子)
- P7:「大麦における湿害耐性の評価」○安彦友美¹, Pham Thi Thanh Huyen¹, 轟貴智², 原口雄飛², 田中剛³, 最相大輔⁴, 甲斐浩臣² (1. 九州大学, 2. 福岡県農林業総合試験場, 3. 農研機構・次世代作物センター, 4. 岡山大学)
- P8:「イネ野生種由来イントログレッション系統群を用いた遺伝子の探索と利用」○山形悦透, 安井秀 (九州大学)
- P9:「アフリカおよびアメリカ原産野生種に由来する NAM 集団を用いた F1 花粉不稔遺伝子座の探索」○梅原彩, 安井秀, 山形悦透 (九州大学)
- P10:「*Oryza glaberrima* Steud./*O. sativa* L. 間雑種致死クロロシスの特性評価」○中村将太, 津山孝人, 安井秀, 山形悦透 (九州大学)
- P11:「インド型イネ品種 PTB33 のトビロウカ高度抵抗性に関する QTL 解析」○田畑周作, 山形悦透, 安井秀 (九州大学)
- P12:「*Oryza sativa* L. と *O. glaberrima* Steud. 間の種間交雑に由来する雑種不稔系統における花粉発達過程の異常」○藤原渉, 安井秀, 山形悦透 (九州大学)
- P13:「ウンカ類殺卵遺伝子 OVC 候補配列を導入した形質転換体の液浸化形成率」○松本和佳菜, 山形悦透, 安井秀 (九州大学)

- P14:「イネ変異体コレクションの評価—現状と今後—」○久保貴彦, 山形悦透, 安井秀, 佐藤豊, 熊丸敏博 (九州大学農学研究院)
- P15:「イソアミラーゼ 1 活性低下変異を利用した超軟質米の作出」○中村哲洋, 熊丸敏博 (九州大学農学研究院)
- P16:「ESP1 encoding eukaryotic peptide chain release factor 1 regulates the termination of a specific cysteine-poor prolamines in rice endosperm」○Ammar Elakhdar^{1,2}, Tomokazu Ushijima¹, Masako Fukuda¹, Noriko Yamashiro¹, Yasushi Kawagoe³, Toshihiro Kumamaru¹ (1. Kyushu Univ., 2. Field Crops Research Institute, Agricultural Research Center, 3. Div. of Plant Sciences, National Institute of Agrobiological Sciences)
- P17:「Characterization of a new sugary gene in rice」○Nguyen Thi Phuong Tho, Tetsuhiro Nakamura, Toshirhiro Kumamaru, Takahiko Kubo (九州大学農学研究院)
- P18:「栄養繁殖性サツマイモ種子への遺伝子導入の試み」○陳蘭庄^{1,2}, 升岡繫², 境哲文³, 高畑康浩³ (1. 南九大・環境園芸学部, 2. 南九大・大学院, 3. 九州沖縄農研セ・サツマイモ育種グループ)
- P19:「宮崎在来野菜「佐土原」ナスの品種改良～栽培種と野生種を用いた種間交雑種の作出～」○吉村和人¹, 陳蘭庄^{1,2} (1. 南九大・環境園芸学部, 2. 南九大・大学院)
- P20:「宮崎発のメロン育種に向けてのアプローチ～品種間交配による雑種系統の作出～」○山脇京介¹, 小森山翔太², 陳蘭庄^{1,2} (1. 南九大・環境園芸学部, 2. 南九大・大学院)
- P21:「ナスにおける人工気象器を用いた青枯病菌接種検定法の評価」○小山佳史・杉田亘 (南九州大環境園芸学部)
- P22:「Capsicum 属におけるサツマイモネコブセンチュウの寄生性評価」○原口優希¹, 小山佳史¹, 松永啓², 杉田亘¹ (1. 南九州大環境園芸学部, 2. 農研機構野菜花き部門)



集合写真



受賞者の2人（中央左側：松本和佳菜さん，中央右側：藤原渉さん）

日本育種学会会員異動(2018.10.21～2019.4.20)

◇普通会員入会：相馬ちひろ，平山裕治（北海道），藤村健太郎（秋田県），佐々木一嘉（山形県），能勢（岩谷）美峰，藤田美紀（茨城県），岡本昌憲，高倉由光（栃木県），CHIN DONG POH（千葉県），鶴田燃海（東京都），爲重才覚（神奈川県），斎藤輝明（長野県），平野達也（愛知県），FEKIH RYM（兵庫県）

◇学生会員入会：黒川滋，神津拓人，長岡寛知，山森晃一，尹赫晟，NGUYEN TAM THANH（北海道），菅野あゆみ，佐藤優美（青森県），石川春香（茨城県），

CHUKWURAH PETER，福田真由，渡辺康平（千葉県），小野浩輔，NGO PHUONG NGOC，佐藤耕平，千々谷涼介，鶴田遊，中田康貴，楼希超（東京都），石井惇仁，加藤秀梧，田中溪，永田博基，西野愛，山田雄史，吉田綾（神奈川県），坂本勝汰（石川県），羽賀夏子（岐阜県），手塚拓海（静岡県），中野有紗，南山将輝，森政樹，和氣達朗（愛知県），橋本康史，山本樹生（滋賀県），小田康太朗，庄田匡志（京都府），船越孝之（大阪府），石丸陽平，高松鮎美，田中紗弥夏（兵庫県），池田裕一（奈良県），前田楓，松永幸子（鳥取県），大畑慎一郎，TRANG PHUONG DUNG，LUO GUO FU（岡山県）

◇外国会員入会：SABAR MUHAMMAD（パキスタン）

◇賛助会員入会：日本たばこ産業（株）葉たばこ研究所（栃木県）

住所変更等

◇普通会員：斎藤浩二，寺沢洋平（北海道），勝田眞澄，楠和隆，佐々木和浩，高橋飛鳥，西嶋遼（茨城県），平野久（群馬県），加藤信，田口和憲，津釜大侑，松下景（東京都），小松憲治（神奈川県），有賀悠貴，坂井真（新潟県），服部洋子（愛知県），関根大輔（三重県），半田裕一（京都府），許冲（兵庫県），古田智敬（岡山県），熊谷亨（香川県），賀屋秀隆（愛媛県），阪田光和（高知県），野下浩司（福岡県）

◇外国会員：MURATA MINORU（マレーシア），別所（上原）奏子（アメリカ）